地域の産業界を中心に、地域の気候風土を活かした省エネルギー住宅の飯田独自仕様の構築と流通を含めた仕組みづくりを行う。ま

事業目的

法令・例規等

対象

意図

飯田市環境基本条例

た、省エネルギー住宅改修への支援制度の構築を目指す。

市民、事業者

2 事業内容											
	取組内容						経費の内容				掌費(千円)
	1 日本都市計画学会を母体とした有識者と地元若手建築士 省エネ建築補助制度の研究										33
	、飯田市の職員による「低炭素都市づくりとエネルギー対策						企業省エネの啓発				184
	の推進に関する自治体支援プログラム」により、産官学でネ										-
	ット・ゼロ・エネルギーハウス (ZEH) の飯田モデル構築										
	のため、検討を進めました。										
30年度	2 エネルギー使用などの観点を踏まえ、市内企業を中心に										
取組	企業省エネセミナーを実施しました。										
						その他の経費					0
	1							亚芹00左座	A10=7-1	- 1	0
	指標名 (数値で表せる活動量)					28年度	平成29年度	平成30年度 令和元年		支	令和2年度
	, ,					[績	実績	実績			
	ZEB/ZEH研究会・普及活動の実施回数					7	12	9			
活動指標											
	予算額 466 466			(-1)	特定財源内訳及び補足事項						
		決算額	217								
30年度 決算 (千円)	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	200								
		一般財源	17								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)			
1	1	4	1	5	19	7	466	217	省エネルギー推進事業費			
2												
3												
4												
5												
6												
7												
振返	振返り課題認識 「低炭素都市づくりとエネルギー対策の推進に関する自治体支援プログラム」の活動を中心に、地域の気候風土に合った飯田版ZEH仕様の検討を進めていますが、産業界の生業としての制度構築と意思統一が必要となります。併せて、飯田版ZEH仕様の評価方法や流通を促進するための仕組みづくりも必要です。また、地域の気候風土に合った飯田版ZEH仕様の検討を進めるにあたり、市民や事業所の省エネに対する意識啓発・醸成が必要となります。											
	上記の課題解決 のための有効策 地元若手建築士や有識者と連携を図りながら多様な主体の協議の場の構築を設け、地域の気候風土に合った飯田版 Z E H仕様の検討を進めます。また、省エネセミナーなど市民や事業所の省エネに対する意識啓発・醸成を養っていく取組みが必要です。											
	次年度に向けての取り組み 引き続き、地元若手建築士や有識者と連携を図りながら地域の気候風土に合った飯田版ZEH仕様の検討を進めるために様な主体の協議の場を設け取組の推進を図るとともに、一方では、省エネセミナーなど市民や事業所の省エネに対する意啓発・醸成を養い、行動に移す取組みを行います。											